

令和 2年度予算見積調書

課室名：河川砂防課
 担当名：荒川中流・小山川流域担当
 内線：5135 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B36	放水路活用浸水対策費（公共）			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	社会資本整備総合交付金（河川）事業費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	河川法第9条	宣言項目		03	大地震など危機への備えの強化		
				分野施策		020518	治水・治山対策の推進		
1 事業概要 近年頻発化する豪雨や台風の大型化に対し、既存の河川施設である放水路を有効に活用し、河川の洪水流量を調整することによって浸水被害の早期軽減を図る。 (1) 放水路活用浸水対策費（公共） 470,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 新河岸川と新河岸川放水路の分派点に整備した渋井水門（現況1門）を1門増設（整備後2門）し、新河岸川放水路への分派量を増加させることにより新河岸川の流下能力を向上する。 ・対象河川：新河岸川（新河岸川放水路） ・渋井水門の増設：1門（整備後2門） ・新河岸川上流部の改修：L=1.8km（橋梁架換3橋を含む） (2) 事業計画 ・平成30年度 水門増設工事：本體工、ゲート製作工 上流部の改修：橋梁架換設計 ・令和元年度 水門増設工事：本體工、ゲート制作工 上流部の改修：橋梁架換1橋 ・令和2年度 水門増設工事：ゲート据付工、附帯工 上流部の改修：橋梁架換1橋 ・令和3年度 上流部の改修：橋梁架換1橋、堤防整備 (3) 事業効果 既存の新河岸川放水路を有効に活用することで浸水被害の早期軽減を図る。 (4) その他 過去の実績（単位：千円） 年度 平成30年度 令和元年度 事業費 700,000 570,000					
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 ・公共事業等債 充当率90%（通常分50% 財対分40%） 交付税措置 財対分50% ・防災・減災、国土強靱化緊急対策事業債 充当率100% 交付税措置50%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費 9,500千円×0.6人=5,700千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金	県債						
決定額	470,000	235,000	235,000					0	△100,000
前年額	570,000	285,000	285,000					0	